

**製品名: GNL3 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM83041**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ELISA,FC
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	62kDa

**抗原情報**

遺伝子名	GNL3
別名	NS; E2IG3; NNP47; C77032
遺伝子 ID	26354.0
SwissProt ID	Q9BVP2
免疫原	大腸菌で発現したヒト GNL3 (AA: 1-226) の精製された組み換え断片。

**背景**

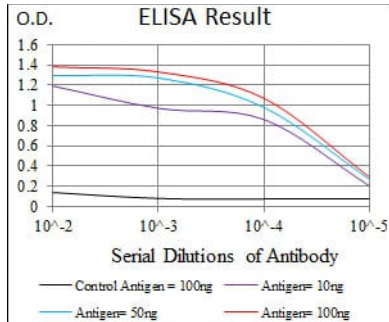
この遺伝子によってコードされるタンパク質は p53 と相互作用し、腫瘍形成に関与している可能性があります。また、このタンパク質は幹細胞の増殖にも重要であると考えられます。このタンパク質は核と核小体の両方に存在します。この遺伝子には、2つの異なる

アイソフォームをコードする3つの転写バリエーションが見つかっています。

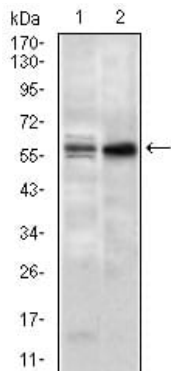
## 研究分野

-

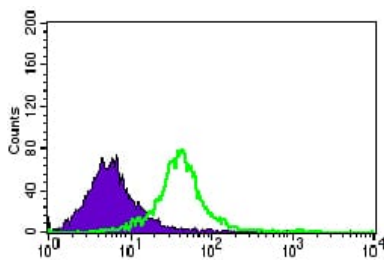
## 画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



NIH3T3 (1) および PC-3 (2) 細胞溶解物に対する GNL3 マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。



GNL3 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (紫) を使用した Jurkat 細胞のフローサイトメトリー分析。